授　業 科目名	【Ｇカリキュラム】　－ 【ＥＦカリキュラム】　現代社会と経営Ｉ	その他参照	開講年次	【Ｇ】－ 【EF】2	単位数	【Ｇ】－ 【EF】2
科目区分	専門科目：【Ｇ】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－－・－・－）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－－・－・－）					
担当形態	単独	【Ｇ】教員の免許状取得のための　（－・－－・－・－）科目 【EF】教員の免許状取得のための　（－・－－・－・－）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	現代社会という魔界とどう戦うか		担当者	野呂　一郎		

授業概要	【概要】 現代社会という未曽有の底なし沼、魔境を相手にして、はっきりいって経営学の教科書など役に立たない。役に立つのは、教科書や先生に教えてもらおうという態度ではなく、自ら調べ、大胆に仮説を立て、実行する精神である。しかし、それ以前に大事なものがある。それは自由で非常識な精神だ。バカ言ってんじゃない？いいや、実はそれこそ、経営学が現実に向かっている方向なのだ。ウワサと正反対に野呂は案外まともじゃん？　そんな野呂のいう正統派の真骨頂を味わってみないか。この講義は経営学の高度な応用であり、実践である。ゆえに基礎的な経営学科目を履修していることが望ましい。なお、企業事例は最新のものに置き換わる可能性がある。 【到達目標】 細かい理論よりも、戦略マインド、つまり戦略という考え方を自分なりに身につけてもらうこと。
履修条件	経営学関連の基礎科目（経営学概論、経営管理Ｉ）をすでに履修していることが望ましい
教科書・参考書	【教科書】 「産業心理と経営学」北大路書房　野呂ほか著 【参考書】 「ナウエコノミー　－新・グローバル経済とは何か－」学文社　野呂一郎著

授業回数	授業内容	
1	ガイダンス―本講義のすすめ方―	
	予習：教科書まえがき、目次を読んでくる	復習：現在の企業の在り方と講義の内容を対比する
2	人工知能は経営を変えるか	
	予習：指定資料を熟読　／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
3	ガバナンスこそ経営	
	予習：指定資料を熟読　／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
4	ポリティカル・コレクトネスの時代	
	予習：指定資料を熟読　／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
5	SNS 時代のブログ・マーケティング戦略を考える	
	予習：指定資料を熟読　／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
6	最新企業事例に見る　現代における競争とは何か	
	予習：指定資料を熟読　／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
7	企業事例研究　安室奈美恵引退にみる、エイベックスの経営戦略	
	予習：指定資料を熟読　／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
8	ハラスメントとは何か　～ブラック企業はなぜなくならないか～	
	予習：教科書頁 50～60 頁／予告企業事例精査（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
9	現代におけるリーダーシップを考える	
	予習：教科書 67 頁～77 頁／予告企業事例精査（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
10	モチベーション理論は使えるか　～現代が必要とする動機づけのフレームワーク～	
	予習：教科書頁 70～77 頁／予告企業事例精査（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
11	新しいグローバリゼーションの波　トランプ流ポピュリズムと世界経済の関係	
	予習：教科書 80～90 頁／予告企業事例を考える（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
12	日本的経営の研究　最新アニメの経営学	
	予習：教科書 110～120 頁／予告企業事例精査（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
13	日本企業と異文化経営	
	予習：教科書頁 120～130 頁／予告企業事例精査（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
14	IT 企業最新動向　アマゾン、グーグル次の一手	
	予習：配布資料の熟読、課題検討（計 120 分程度）	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度
15	総括と学習到達度の確認テスト	
	予習：教科書のこれまでの講義に対応するページを読み直すこと	復習：学説の再理解／提示事例の再検討（計 120 分程度

評価方法	受講態度、確認テスト等の結果を総合考慮して成績を評価する。（受講態度 30%・学習到達度の確認テスト 70%）確認テストは概念を適切に理解して、自分の言葉で表現しているかを主にチェックする。
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「Ｓ」または「Ａ」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「Ｂ」または「Ｃ」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「Ｄ」または「Ｅ」とする。なお、確認テスト欠席など、評価不能の場合には「Ｆ」とする。
その他	※Gｶﾘ：法【－】ｽﾎﾟ【－】情【－】／EFｶﾘ：法【－】ｽﾎﾟ【－】経【選択必修（β）】